

2021年度 事業報告書

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

学校法人 大阪聖心学院

1. 法人の概要

名 称 学校法人 大阪聖心学院（昭和30年12月16日法人設立）
代表者 理事長 小林 都代
住 所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号
電 話 072-336-9981
FAX 072-337-1021

設置する学校及び保育所

住 所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号
名 称 星の光幼稚園
住 所 大阪市旭区新森3丁目3番35号
名 称 新森幼稚園
住 所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号
名 称 カンガルールーム

役 員

理 事 5名 任期 令和3年8月26日～令和7年8月25日
監 事 2名 任期 令和3年8月26日～令和7年8月25日
評議員 11名 任期 令和3年8月26日～令和7年8月25日
理事会 2回開催
評議員会 2回開催
職 員 59名（星の光幼稚園）
33名（新森幼稚園）
7名（カンガルールーム）

2. 事業の概要

（ 星の光幼稚園 ）

《教育方針》

物事を自ら考え創意工夫する力、心身のバランス、やさしい心を柱とする。

《教育内容》

お外に出て体操を行い、園庭で元気に遊び、お部屋の中では絵本を読んだり、製作をしたり、椅子にもしっか座って保育します。子どもひとり一人の個性と能力を引き出すために年少組から全員ギルフォード式の英才教育を行い実績を上げています。遊びの中で楽しく学んでいく保育です。

そろばん、パソコン、書道、剣道、外国語、絵画、鼓笛隊、器楽合奏、日本太鼓（一部有料）などの保育時間内に特別活動を実施

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			9	190	6	200	6	200	21	590
2020年度	3	84	7	151	5	154	5	164	20	553
2021年度	2	59	7	151	5	152	5	154	19	516
2022年度	2	60	6	150	5	151	5	155	18	516

《保育時間》

月～金曜日 午前10時～午後2時20分

《納付金》

保育料（3歳児） 年額428,400円（無償化分含む）

（4・5歳児）年額380,400円（無償化分含む）

教材費（全園児） 月額1,000円

《入園時の費用》

入園料（3歳児） 65,000円

（4・5歳児） 55,000円

入園検定料 2,000円

バス申込金（利用者のみ） 6,000円

《預かり保育》

愛和苑（月～金曜日）／午後2時30分～午後6時

スポット保育／午後2時30分～午後6時（1,000円／回）

早朝保育／午前7時～午前10時

夕焼け保育／午後4時30分～午後6時

夏期保育／午前10時～午後3時

年末年始年度末／午前8時～午後5時 ※就労証明書が必要

《行事予定》

春の遠足、日曜参観、青空遊び、プール、お泊り保育、音楽会、盆踊り、敬老参観、
秋の遠足、運動会、お店屋さんごっこ、社会見学、お遊戯会、クリスマス会、おもち
つき、展覧会、消防クラブパレード

《施設関係》

園地面積 8,295㎡、運動場面積 3,481.2㎡

シングルすべり台取得。

《設備関係》

プロジェクター、EVA踏み台等を取得。

（ 新森幼稚園 ）

《教育方針》

明るく健康で心身共たくましく、自主的にかつ創意工夫する、人間味豊かな人間像を
目指す。

《教育内容》

年齢、発達に応じた偏りのないバランスのとれた保育内容で、毎日いろいろな経験を重ねながら、一人ひとりの個性を大切に育てる。

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			3	80	3	100	3	100	9	280
2020年度			3	80	3	96	3	102	9	278
2021年度		25	3	67	3	81	3	98	9	271
2022年度	1	20	3	76	2	70	3	89	9	255

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時30分

《納付金》

保育料（3歳児） 年額372,000円（無償化分含む）

（4・5歳児）年額338,400円（無償化分含む）

教材費（全園児） 月額1,000円

《入園時の費用》

入園料（3歳児） 60,000円

（4・5歳児） 55,000円

入園検定料 3,000円

バス申込金（利用者のみ） 6,000円

《預かり保育》

愛和苑（月～金曜日）／午後2時30分～午後5時30分

スポット保育／午後2時30分～午後5時30分（1,000円／日）

夕焼け保育／午後5時30分～午後6時30分

夏期保育／午前10時～午後3時

年末年始年度末／午前8時30分～午後5時30分 ※就労証明書が必要

《行事予定》

春の親子遠足、日曜参観日、社会見学、お泊り保育、盆踊り大会、夏祭り（お店屋さんごっこ）、敬老会、運動会、秋の遠足（おいも堀・みかん狩り）、発表会、おもちつき大会、クリスマス会、かるた大会、凧あげ大会、展覧会

《施設関係》

園地面積 1,367.30㎡、運動場面積 884.47㎡

キュービクル囲い設置。

《設備関係》

跳び箱、パソコン3台、チェック温一式取得。

（カンガルールーム）

《園児数》

定員19人	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	
2021年度	1	6	12	19
2022年度	1	6	12	19

《職員構成》

園長	1名
主任保育士	1名
保育士	4名
事務員	1名

《事業報告》

2021年度も新型コロナウイルスの影響があったが、前年度に引き続き行事等保育の内容を変更しながら保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

昨年11月から年明けまでは第5波が収まり、社会・経済活動の再開で進展するかと思われたが、1年半ばより感染力の強いオミクロン株の第6波が全世界に拡大し、わが国においても驚くような感染状況が続き、新年度に突入した。

更に、冬季オリンピック閉会の日、ロシア軍によるウクライナ侵攻の戦争が勃発し、世界は、新型コロナウイルス以上の課題を抱え、暗黒の状況に陥らされることとなり、世界中が、一刻も早く侵略戦争が終わることを固唾を呑んで願っているが、戦争と新型コロナウイルスの影響は当分続くものと思われ、景気の一層の落込み、原油価格の高騰、相次ぐ生活用品の値上げ等により、保護者世帯の家計も厳しい状況となると考えられる。

また、2021年の出生数は、84万2,897千人となり急激な少子化が進行しており、婚姻数が前年度より12%以上減少していることから、2022年以降は、一層少子化が進み80万人を割り込むことが予想される。

採用状況についても、依然として厳しい状況が続いており、幼稚園教諭・保育士の養成校も生き残りをかけ学生確保に取り組んでいるが、大阪府内の殆どの養成校は、定員を確保出来ていない状況になっている。更に、受験生の多くは4年制大学指向が強くなり、幼稚園教諭の免許及び保育士資格を取得した場合でも、企業の採用意欲が強くなり、すんなりと認定こども園・幼稚園に応募することも極端に少なくなっている。

そのような状況から、当園としては、安定した事業継続を図るため、地域の少子化進行状況及び養成校はもとより、人材派遣会社等から教職員採用状況を調査・検討し、実態をしっかりと見定め、慎重に対応していくこととする。

2015年4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、移行が進み、2022年度は、6割近い園が新制度に移行し、171園が私学助成で園を運営している。

当園は、引き続き私学助成園として運営する。収入を安定させるためにも、経常費補助金の配分基準の内容を十分に把握し、事務を効率化し確実に対応することとする。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校

関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙のとおりまとめ公表に努めた。

財務状況については、事業活動収支計算書より、星の光幼稚園では、教育活動収入計が352,208千円（対前年比3.38%UP、340,695円）、教育活動支出計365,315千円（対前年比4.13%UP、350,810千円）、教育活動収支差額▲13,106千円（前年度、10,115千円）、経常収支差額比率▲3.72%（前年度▲2.97%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、52.75%（前年度54.05%）となり、前年度より低下した。

新森幼稚園では、教育活動収入計が194,959千円（対前年比0.64%UP、193,710千円）、教育活動支出計182,962千円（対前年比5.34%UP、173,682千円）、教育活動収支差額11,997千円（前年度20,027千円）、経常収支差額比率4.78%（前年度8.79%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、49.69%（前年度47.98%）となり、前年度より上昇した。

カンガールームでは、教育活動収入計が42,420千円（対前年比1.73%UP、41,697千円）、教育活動支出計50,827千円（対前年比▲6.11%、54,135千円）、教育活動収支差額▲8,407千円（前年度▲12,438千円）、経常収支差額比率▲20.40%（前年度▲30.46%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、75.44%（前年度77.45%）となった。

学園全体では、経常収支差額▲11,609千円（前年度▲7,485千円）、経常収支差額比率▲1.94%（前年度▲1.28%）となった。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）を有しているので、資金繰りは問題ない。

3. 財務状況